

みぢかな季節かんじ隊

調査結果報告書（ツバメ）



観測地点：公田町



観測地点：下長磯町

目次

- | | |
|---------|------------|
| 1 調査の目的 | 5 調査地点 |
| 2 調査の内容 | 6 参加者の声・写真 |
| 3 調査の結果 | 7 参考資料 |
| 4 調査データ | 8 事務局より |

1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、次世代を担うこども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって前橋市域の自然環境やその変化を知り、環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にツバメの調査を実施しました。

2 調査の内容

調査の対象は、対象地域が市内各所にあること、私たちが身近な自然として感じられることを考慮し、「ツバメ（ツバメ・イワツバメ）」としました。

(1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集しました。（調査に参加した方を「隊員」といいます）
- ②隊員は、調査する場所を決め、期間内に調査を行いました。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出いただきました。

(2) 調査の概要

テーマ	指標生物	調査内容	調査期間
ツバメの調査	ツバメ、イワツバメ	初見日、巣の場所	3月13日（金）～7月31日（金）

3 調査の結果

ツバメ

- ・調査隊員数：16名
- ・調査地点数：27地点
- ・確認種類(件数)：ツバメ（25件）、イワツバメ（3件）※重複1件あり
- ・前橋気象台の初見日：3月26日

〈参考〉前橋地方気象台の観測データ（ツバメ）

観測	H28	H29	H30	H31(R1)	R2
初見日	4月13日	4月17日	4月10日	4月3日	3月26日
平年差	+13	+17	+10	+3	-5
昨年差	+3	+4	-7	-7	-8

平年差（昨年差）が、正の数の場合「平年（昨年）より遅い日数」、負の数場合は、「平年（昨年）より早い日数」を示しています。

4 調査データ

市民自然環境調査「みぢかな季節かんじ隊（ツバメ）」調査結果

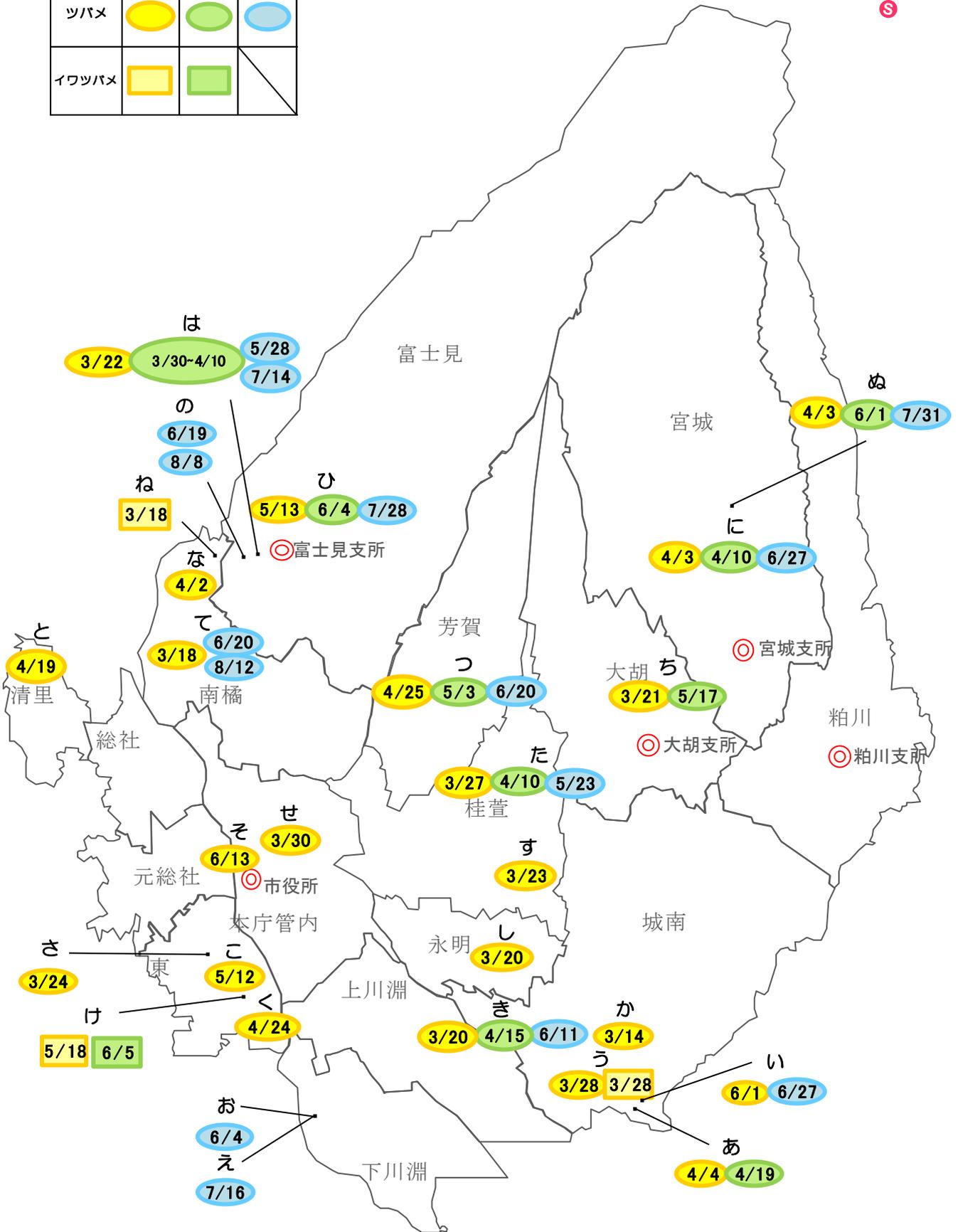
番号			調査場所				ツバメの種類	観察日		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
No.	地点番号	隊員番号	住所	名称 (地点名)	建物の種類	(その他)	ツバメの種類	初見日	巣作り	巣立ち
			町名							
1	あ	14	下増田町	自宅	戸建て住宅 その他	上空～近所周辺	ツバメ	4月4日	4月19日	—
2	い	2	下増田町	住宅地	戸建て住宅		ツバメ	6月1日	—	6月27日
3	う	14	下増田町 駒形町	新須永橋 (広瀬川上・下流)	その他	川	ツバメ イワツバメ	3月28日	—	—
4	え	7	公田町	自宅の玄関の軒下	戸建て住宅		ツバメ	—	—	7月16日
5	お	7	公田町	自宅の2階 ベランダ廊下	戸建て住宅		ツバメ	—	—	6月4日
6	か	1	小屋原町	自宅作業場	戸建て住宅		ツバメ	3月14日	—	—
7	き	8	下大島町	リハティきせ	集合住宅		ツバメ	3月20日	4月15日	6月11日
8	く	5	上新田町	雷電神社脇 サイクリングロード	その他	サイクリングロード	ツバメ	4月24日	—	—
9	け	6	上新田町	済生会前橋病院	その他	病院	イワツバメ	5月18日	6月5日	—
10	こ	15	光が丘町 小相木町	とりせん倉庫	倉庫・車庫		ツバメ	5月12日	—	—
11	さ	12	小相木町	自宅付近	集合住宅		ツバメ	3月24日	—	—
12	し	2	下長磯町	住宅地	戸建て住宅		ツバメ	3月20日	—	—
13	す	3	江木町	谷地沼	その他	公園の池	ツバメ	3月23日	—	—
14	せ	14	北代田町 下小出町	小代橋 (桃木川上・下流) スーパーバルク西側	その他	川	ツバメ	3月30日	—	—
15	そ	6	大手町	県庁31F	ビル		ツバメ	6月13日	—	—
16	た	10	亀泉町	新田塚 (池,亀泉接骨院玄関口)	戸建て商店		ツバメ	3月27日	4月10日	5月23日
17	ち	9	堀越町	自宅	戸建て住宅		ツバメ	3月21日	5月17日	—
18	つ	11	小坂子町	株式会社すかいらーくHD 前橋工場	その他	工業団地内の製造工場	ツバメ	4月25日	5月3日	6月20日
19	て	16	川端町	知人宅	戸建て住宅		ツバメ	3月18日	抱卵開始 ①5月22日 ②7月19日	①6月20日 ②8月12日
20	と	4	池端町		戸建て住宅		ツバメ	4月19日	—	—
21	な	14	田口町	宝林寺東方の個人民家	戸建て住宅		ツバメ	4月2日	—	—
22	に	14	粕倉町	カネコ種苗 ぐんまフラワーパーク	その他	フラワーパーク (売店)	ツバメ	4月3日	4月10日	6月27日
23	ぬ	14	粕倉町	カネコ種苗 ぐんまフラワーパーク	その他	フラワーパーク (ホール)	ツバメ	4月3日	6月1日	7月31日
24	ね	16	関根町	広瀬川橋側道橋	その他	橋	イワツバメ	3月18日	—	—
25	の	16	富士見町原之郷	五十嵐病院	その他	個人病院	ツバメ	—	—	①6月19日 ②8月8日
26	は	16	富士見町原之郷	知り合いの美容院	戸建て住宅		ツバメ	3月22日	3月30日～ 4月10日	①5月28日 ②7月14日
27	ひ	13	富士見町田島	自宅	戸建て住宅		ツバメ	5月13日	6月4日	7月28日

※①、②はそれぞれ1回目、2回目を表す

5 調査地点

【凡例】

	初見日	巣作り	巣立ち
ツバメ	●	●	●
イワツバメ	■	■	



6 参加者の声と写真（一部抜粋）



【地点】ね 関根町

・毎年ツバメが来ています。今年は例年よりも早いです。（隊員番号1）

・ツバメのヒナが1羽顔を出しました。
泥の巣（おわん型）から5月27日10時
もう2か所のツバメの巣から2羽。

6月6日4羽、6月11日2羽。まるい毛がはえてつけて飛び立つ。
（隊員番号8）

・巣作りした日はわかりません。

なかなか見つからなかったツバメの巣が今回なんと見つかりました。

梅雨時に入り、ツバメも忙しくなったのでしょうか、活動的に飛び交っています。

そのような中、軒下からツバメがひゅーと。

ツバメのヒナも身を乗り出して親から餌を、親もせわしく飛び回っています。

人間社会も私も元気をもらうことが出来ます。

巣立ちがまもなくなののでしょうか、見守っていきたいと思います。

6/27 本日晴れ、巣立ちを迎えました。

私が現地を観察したときは最後の一羽で間に合いました。

親が催促するかの如く何回も出たり入ったり、そして飛び立ちました。

近くの電線には兄弟たちが待っているのでしょうか、それとも疲れて休んでいるのでしょうか。

最後の一羽も仲間の電線の傍に止まりました。気持ち良い一日です、ありがとう。（隊員番号2）

・2月に初めて野鳥観察会（嶺公園）に参加しました。

大変お世話になりました。

以後、野鳥を見つけると気になるようになりました。

散歩中、池の水面近くを2羽の「ツバメ」が元気に飛び交う姿を見つけました。

後で、天気や時刻を記録しておけばよかったかな！なんて思いました。（隊員番号3）

・利根川上をつがいの数組が飛来していました。（隊員番号5）

・巣を見つけるのに若干苦労しました。（隊員番号10）

・1回目の孵化は5月9日で4羽、2回目は6月22日で4羽でした。

ベランダがまた汚れましたが、かわいい姿を見せてもらえました。（隊員番号16）

・卵を確認したのが4月29日

数日前からツバメが賑やかになり巣に出入りしていた。

5月11日に確認したときはまだ卵

ヒナを確認したのが5月18日

6月5日にはもぬけの空

前日には巣の周りが賑やかだったので6月4日が巣立ちだと思う。

（隊員番号7）



【地点】い 下増田町

- 燕は地上 3m 位の所にいると聞いてましたが、県庁の中で 1 番高い群馬県庁 31F の窓からも何羽も空高く飛んでいるのが見られました。

県庁 31F あたりの壁にも巣作りをしているに違いありません。

視界が真っ白の雨の昼でした。

壁の巣探しには行けないので、高い所にもいる驚きだけの報告です。（隊員番号 6）
- 我が家には初めての巣でした。

4 羽無事に巣立ちました。毎日見守るのが楽しみでした。

子育て中も他のツバメが 3、4 羽近くで見えていました。妨害する様子は無かったので、前に巣立った子だったりするのでしょうか。

来年も元気に飛来して欲しいです。（隊員番号 13）
- 今年は昨年に続き、巣の様子を見に来てしばらくしてから壊れた巣を直し始めているうちに卵を産み雛になったようです。巣を直すのが甘かったらしく一つは卵が落ちていたりしていました。

六月の中旬に雛が姿を消してしまいまして、何か他の動物に襲われたのかもわかりません。

数日は夜になると巣のある所までやってきて一夜を過ごしていたようですし、周囲を飛び回る姿を見かけます。今年は残念なことに雛がかえることはなかったようです。（隊員番号 11）
- 一昨年に初めて巣を作り、昨年は二度抱卵し計 9 羽の巣立ちを見たのですが、今春はカラスによって巣が壊されてしまいました。5 月 17 日から抱卵する姿が確認できました。

しかし、6 月 1 日にカラスが巣を襲い、ベランダの床に落とされた卵が確認されました。

残念です。（隊員番号 9）
- 今年のツバメの調査は新型コロナウイルス感染防止活動自粛期間が人間生活にやや支障があったのでの日々でした。

しかし、ツバメの飛来は例年どおり初見できたのではないのでしょうか。（一安心）

我が家にも巣作りを試す時期（時間）があったが、結果的に巣作り～完成ならず。

その後、7 月中旬ごろ自宅に待機生活（おこもり、すごもり）するうち外（庭の上や近所周辺・電線等）でツバメを目にする機会が何度もあり、とても心穏やかな気分になりました。

コロナ感染の状況は知っていたのでしょうか。

来年もお待ちしてます～。（隊員番号 14）



【地点】え 公田町



【地点】の 富士見町原之郷

7 参考資料

ツバメの特徴

ツバメは、春の訪れとともに日本にやってくる夏鳥です。
 巣作りも子育ても雌雄が協力して行います。
 夏の終わりころ南の国への渡去準備のため群れになります。



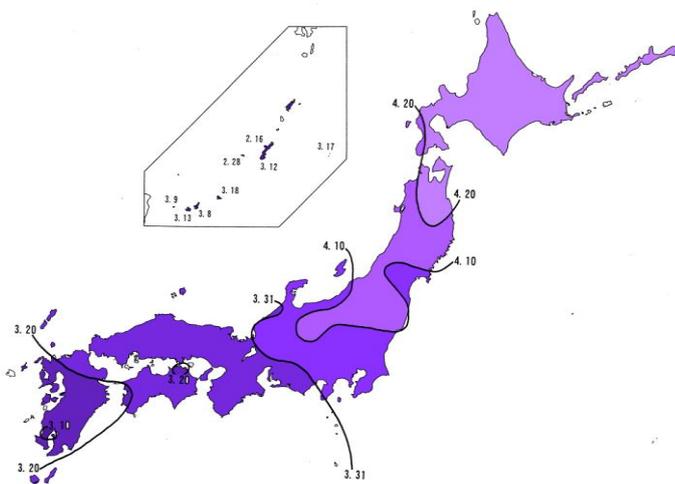
ツバメ・イワツバメの違い

	ツバメ	イワツバメ
見分け方	 額とのどは赤褐色 17 cm  尾は細長い	 14~15 cm  腰は白色 尾は短い
巣作り場所	商店や住宅の軒下に巣を作る	山や海岸の崖、ビルや橋などに集団で巣を作る
分布	北海道や九州、種子島 (北海道では道南にほぼ限られる)	北海道や九州 (西日本では局地的で少ない)

イラスト：担当者

ツバメの初見日の等期日線図

(1981~2010年 平年値)



ツバメの初見は、3月上旬から九州地方南部で始まります。3月20日に九州地方、四国地方に達し、3月31日に中国地方、近畿地方、北陸地方、中部地方を結ぶ地域、4月10日に東海地方、関東甲信地方、東北地方南部を結ぶ地域、その後、東北地方北部を北上し4月下旬に北海道地方に達します。

〈気象庁HP「生物季節観測」引用〉

8 事務局より

今年は、16名の隊員の皆様から27地点のご報告をいただきました。隊員の皆様には巣作りから巣立ちまで、長期にわたりご協力をいただき誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響で人間の生活が変化する中、ツバメは変わらず日本にやって来てくれました。昨年の巣に戻って来たという報告もあり、大変嬉しく思います。

ツバメは、自粛生活が続く私たちに癒しと元気を与えてくれました。

今後も「みちかな季節かんじ隊」の調査へのご協力をお願いするとともに、日々の生活の中におきましても身近な生き物を通じて自然環境に目を向けていただければ幸いです。

「前橋市環境都市宣言」

前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しみ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として4つ目の宣言文となります。